

## 通信の未来を担う学生論文特集の発行にあたって



通信の未来を担う学生論文特集編集委員会

委員長 菊間 信良

和文論文誌編集委員会では、昨年度、「通信技術の未来を拓く学生論文特集号」(2009年1月発行)を企画した。昨年度の特集では、数多くの論文を御投稿頂き、学生の皆さんの研究活動活性化への契機となる機会の提供、あるいは研究成果発表の場の提供という目標に対して大きな成果を上げることができた。また「論文の書き方講座」が春の総合大会、秋のソサイエティ大会で継続的に開催されるようになり、講座を聴いて本特集号で論文執筆を実践するという連携もうまく軌道に乗ってきたように思える。

そこで、本年度も昨年度に引き続き、学生論文特集号第2回である「通信技術の未来を担う学生論文特集」を特別企画した。本特集では、昨年度と同様、特集テーマとして技術分野を絞るのではなく、広く通信技術全般を対象技術テーマとし、筆頭著者が学生となっている論文を募集することとした。特に、優れた研究成果が得られているものの、論文投稿の経験がない方、あるいは少ない方々には、是非この機会を利用して論文投稿をして頂きたいという思いで論文募集を行った。今回も、このような理由から和文論文誌編集委員全員で本特集の編集委員を務めた。

お陰様で、本特集号へ投稿された論文数は、第1回に劣らぬ論文60編、レター3編の多数に及んだ。厳正な査読の結果、最終的には論文25編、レター2編を採録することとなった。また第1回と同様、通信技術の未来を担う若い学生の今後の研究活動を更にエンカレッジする目的から、優秀論文賞を4編選定した。通信ソサイエティ編集会議のWEB上で受賞論文を発表する予定である。

最後に、本特集号を発行するにあたり、御投稿頂いた方々、論文査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、並びに事務局の奥村様に深く感謝申し上げます。この特集企画が今後も継続的に実施され、多くの学生の皆さんが活躍できる舞台の一つとなることを期待している。

まぐま のぶよし  
菊間 信良(正員) 昭57名工大・工・電子卒。昭62京大大学院博士課程了。同年同大助手。昭63名工大助手、平2同講師、平4同助教授、平13同教授、現在に至る。工博。アダプティブアレー、到来方向推定、多重波伝搬解析、電磁界理論の研究に従事。第4回電気通信普及財団賞受賞。平18本会論文賞受賞。平19から平21まで本会和文論文誌B編集委員長。著書「アレーアンテナによる適応信号処理」、「アダプティブアンテナ技術」など。IEEEシニア会員。

### 通信の未来を担う学生論文特集編集委員会

委員長	菊間 信良
幹事	朝香 卓也・高橋 応明
委員	石井 望・石川 博康・上原 秀幸・王建青
	石川 義裕・加藤 寧・岡部 寿男・上山 憲昭
	九鬼 孝夫・合藤 清一・坂井 栄治・可児 淳一
	佐藤 伸二・佐野 裕康・田嶋 裕久・鷹取 泰司
	馬杉 正男・増田 悦夫・前山 利幸・松田 哲史
	三浦 周・水野 修・宮下 裕章・宮田 英之
	森山 敏文・柳生 智彦・山崎 憲一・山里 敬也
	和田 忠浩